

## 京仁線沿線風景

秋晴れの11月5日土曜の半休の寸暇を得て、朝取株式研究会及び實業会有志一同。躍進港都仁川の地に建設相次ぐ大都市工場地帯に半島重工業の新鋭として現れた朝鮮製鋼所と朝鮮機械製作所を訪問した。

京城発12時50分、一行何れも忙しい仕事合間の視察行とて発車のベル間近にやっと勢揃い。取引所から高橋営業課長の顔が見える。

京仁線一時間毎の連絡列車は何時も満員。今日もギッシリすし詰めで秋日の強い陽さしに汗ばむ程である。此處2、3年前までは京城府内で山手方面に時折見られた分譲地風景は過去の事。未曾有の借地難の今日、大京城の膨張は物凄く斯うして郊外へハミ出て来る。

### 一部略

沿線殆ど稲の刈取りは終わり所々稲穂の野積みが見える。素砂の次駅富平には鉄路に沿って新築工場がある。鉄骨建物二棟、建築中のもの数棟、それにトロッコが走り貨物自動車の往来。これは今春一挙三百万円増資をやった弘中商工の富平機械工場である。敷地総坪数3万2千坪、此辺り一望富平平野の称あり工場の屋根を越えて遠望される彼方の丘陵は陸軍演習地であるとか。所要時間約1時間列車は上仁川駅着。

駅頭にて態々一行を出迎えて貰った朝取仁川支店長田崎藤雄氏や地元同業の河内氏等の御案内で直ちに貸切バス便乗。仁川府東北方の海面埋立地——工場地へと急ぐ。